

令和 3 年度

北但行政事務組合決算審査意見書

一 般 会 計 決 算

基 金 運 用 状 況

北但行政事務組合監査委員



令和4年10月4日

北但行政事務組合

管理者 関 貫 久仁郎 様

北但行政事務組合

監査委員 羽 尻 知 充

監査委員 芦 田 竹 彦

令和3年度北但行政事務組合一般会計決算  
及び基金運用状況の審査意見について

地方自治法第292条において準用する同法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査に付された、令和3年度北但行政事務組合一般会計歳入歳出決算及び決算附属書類並びに令和3年度基金運用状況について審査したので、次のとおりその意見を提出します。



## 目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
1	総括	1
2	決算の状況	3
3	財政の状況	4
4	財産の状況	7
5	基金の運用状況	7
6	審査の所見	8
[参 考 資 料]		
	歳入歳出決算前年度比較表	9

※ 各表中、一部の表は資料の都合により千円単位で表示しており、合計と内訳の計、差引及び前年度比較が一致しない場合がある。

# 令和3年度北但行政事務組合一般会計決算 及び基金運用状況の審査意見書

## 第1 審査の対象

- 1 令和3年度 北但行政事務組合一般会計歳入歳出決算
- 2 決算附属書類  
令和3年度北但行政事務組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書
- 3 基金の運用状況に関する調書

## 第2 審査の期間

2022年6月13日から9月20日まで

## 第3 審査の方法

- 1 令和3年度の一般会計歳入歳出決算書及び決算附属書類について、会計管理者及び組合当局から必要な書類の提出を求め、事項別に説明を聴取するとともに、定期監査及び行政監査並びに例月現金出納検査の結果を参考にしつつ、審査の過程に応じ適宜関係諸帳簿と照合し、計数審査を行ったほか予算執行状況等を審査した。
- 2 令和3年度の基金について、関係諸帳簿と照合し、計数及び運用状況を審査した。

## 第4 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算及び決算附属書類は、いずれも関係法令及び議会の議決に則ったものであり、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認められた。また、予算の執行状況についても、おおむね適正であると認められた。

なお、要望事項等については「6 審査の所見」に述べているので、今後対応等を求める。また、軽易な注意事項等については、その都度口頭で改善指導したので記述を省略した。

以下、審査の結果は次のとおりである。

### 1 総括

北但ごみ処理施設の維持管理及び広域ごみ・汚泥の処理に関する事務を共同して行うことを主要な事業として取り組んでいる。

設計、建設、維持管理・運営を一括して民間事業者が担う公設民営（DBO）方式により事業を実施する北但ごみ処理施設整備・運営事業については、総合評価一般入札方式により、タクマグループが選定され、契約を締結した。2016年8月から施設運営事業者としてタクマグループの設立したSPC（特別目的会社）「ほくとんハイトラスト株式会社」が運営・管理業務を行っている。

- (1) 市町別のごみの受入状況は、豊岡市27,823.87 t（一般廃棄物処理基本計画対比101.41%）、香美町6,233.13 t（一般廃棄物処理基本計画対比104.17%）、新温泉町4,864.35 t（一般廃棄物処理基本計画対比93.97%）、全体で38,921.35 t（一般廃棄物処理基本計画対比96.61%）となっている。
- (2) 新型コロナウイルス対策に伴う緊急事態宣言等による巣ごもり生活となった影響で、

搬入車両が1日500台程度の日が3日あったが、スムーズな受入体制をとることができている。

排ガスの自主保証値を遵守しながら安全に施設稼働を行い、計画外休止は、水銀濃度が自主保証値を超える恐れがあったため9回焼却停止を行ったが、安全のための一時的な停止であり、マニュアルに基づき適正に対応し関係者に報告も行っている。

- (3) 事業推進に当たり、地元等との協議及び報告を行っている。施設運営委員会を1回開催し、環境保全状況、管理施設における監視体制、地域振興計画の進捗状況、災害廃棄物処理計画の策定などについて報告を行っている。また、毎月月例報告として、ごみ受入状況、環境監視の状況などの報告を行っている。引き続き事業運営への理解を得るように努めている。
- (4) 施設には、資源循環と環境保全について考える体験の場を備えることから、施設見学者を積極的に受け入れている。各種市民団体等で26団体558人、一般見学者で9人となっている。さらに、豊かな自然環境が存在する立地を生かし、自然との共存・共生を図るために、ふれあい体験イベントを4回開催し、88人の参加者があった。
- (5) 施設を環境保全の先駆的施設と位置付けていることから、里山保全活動に取り組んでいる。常緑樹と落葉樹が混在する本来の山林の姿を維持し、希少植物を含む多種多様な植生を有する豊かな山林を復活、維持するために、鹿の侵入を防ぐ防護柵の管理、苗木の移植、竹林間伐などを行っている。
- (6) 南側法面の変状が判明したため、法面保護工の対策工事の調査設計及び地滑りへの発展の恐れがないか、地表面の変位調査を実施している。債務負担行為を設定し、翌年度11月までの契約を行っている。  
また、沈下による段差が生じていたり、有害獣による落石があるため、搬入車両安全確保の補修工事を実施している。
- (7) 主な自主財源は、ごみ処理手数料148,918,200円、資源化物売払収入51,758,901円、電力売払収入202,167,874円である。  
資源化物売払の品目は、破碎鉄、破碎アルミ、スチールカン及びアルミカン圧縮成型品、紙製容器包装等であり、上半期と下半期で契約を行い、実績に基づき歳入している。予算に対する収入率は107.8%となっている。  
電力売払は、再生可能エネルギー電気の売電実績であり、株式会社タクマエナジーと契約を行い、実績に基づき歳入している。前年度と比較すると売電量が286,713kWh増加したこともあり、売電収入が11,719,195円増額となっている。

## 2 決算の状況

### (1) 決算の概要

(単位:円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度繰越財源	実質収支額
令和3年度	741,341,447	712,858,579	28,482,868	0	28,482,868
令和2年度	716,415,922	700,236,160	16,179,762	0	16,179,762
比較	24,925,525	12,622,419	12,303,106	0	12,303,106

歳入総額741,341,447円、歳出総額712,858,579円、歳入歳出差引額は28,482,868円の黒字決算となっている。

前年度と比較すると、歳入総額は24,925,525円の増額、歳出総額は12,622,419円の増額、歳入歳出差引額（差引形式収支額）は12,303,106円の増となっている。

### (2) 歳入

(単位:千円、%)

款別	令和3年度			令和2年度 決算額	対前年比
	年度 予算現額	決算額	収入率		
分担金及び負担金	319,145	319,145	100.0	318,440	100.2
使用料及び手数料	143,058	149,022	104.2	144,451	103.2
財産収入	239,201	254,118	106.2	214,953	118.2
繰越金	16,179	16,180	100.0	34,543	46.8
諸収入	3,503	2,876	82.1	4,029	71.4
計	721,086	741,341	102.8	716,416	103.5

当年度の歳入は、予算現額721,086千円、決算額741,341千円で、予算現額に対する収入率は102.8%となっている。決算額を前年度と比べると3.5ポイント増加している。

なお、不納欠損額及び収入未済額は0円である。

### (3) 歳出

(単位:千円、%)

目別	令和3年度			令和2年度 決算額	対前年比
	年度 予算現額	決算額	支出率		
議会費	1,025	866	84.5	817	106.0
総務費	53,656	52,433	97.7	51,639	101.5
衛生費	665,419	659,560	99.1	647,780	101.8
予備費	986	0	0.0	0	—
計	721,086	712,859	98.9	700,236	101.8

当年度の歳出は、予算現額721,086千円、決算額712,859千円で、予算現額に対する支出率は98.9%となっている。決算額を前年度と比較すると1.8ポイント増加している。予算現額から決算額を差引いた不用額は8,227千円である。

なお、予備費は当初予算額1,000千円であり、そのうち14千円を衛生費に充当したことにより、986千円が不用額となっている。



(4) 決算額等の推移

直近5か年間の決算額等の推移は、次のとおりである。(単位：千円、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳入	決算額	702,792	722,380	750,790	716,416	741,341
	前年対比	23.6	102.8	103.9	95.4	103.5
歳出	決算額	676,502	685,747	716,248	700,236	712,859
	前年対比	23.3	101.4	104.4	97.8	101.8
差引収支額		26,290	36,633	34,542	16,180	28,482
(うち繰越明許費繰越額)		0	0	0	0	0
実質収支額		26,290	36,633	34,542	16,180	28,482
単年度収支額		△38,306	10,343	△2,091	△18,362	12,302
一般廃棄物 処理施設基金	積立額	14,001	17,502	19,004	19,202	19,101
	繰入額	0	0	0	0	0
実質単年度収支額		△24,305	27,845	16,913	840	31,403

※ 一般廃棄物処理施設基金は、実質黒字要素として位置付けている。

### 3 財政の状況

歳入総額741,341千円の内訳は、分担金及び負担金〔構成市町負担金〕319,145千円（構成比43.0%）、使用料及び手数料149,022千円（構成比20.1%）、財産収入254,118千円（構成比34.3%）、繰越金16,180千円（構成比2.2%）、諸収入2,876千円（構成比0.4%）である。

歳入では、全体的なごみ搬入量は減少しているものの、巣ごもり生活の影響で、直接搬入の搬入量は増えているため、ごみ処理手数料は増収となっている。電力売払収入は、全体的なごみ搬入量は減少したものの、8月の売払単価の改定により単価が上がったため、増収となっている。資源化物売払収入は、2020度に大きく下落した単価が、2019年度以前の状況に回復したため、増収となっている。

歳出総額712,859千円の内訳は、議会費866千円（構成比0.1%）、総務費52,433千円（構成比7.4%）、衛生費659,560千円（構成比92.5%）である。衛生費〔(項)清掃費(目)施設運営管理費〕の主な支出は、施設運営委託業務482,797千円、ばいじん処理委託業務30,618千円、最終処分場負担金83,866千円である。

歳出では、南側斜面安定対策調査のため委託料で増となっているが、おおむね見込みどおりの執行となっている。

なお、施設運営委託業務は、2036年度までの債務負担行為を設定し、ほくたんハイラスト株式会社に委託している。(管理運営業務の全体契約額8,842,050千円)

## (1) 性質別歳出の状況

性質別歳出の状況は、次のとおりである。(単位：円)

区 分		令和3年度	令和2年度	対前年度 増 減
		決算額	決算額	
経常的 経 費	人件費	18,243,976	17,841,965	402,011
	物件費	536,778,763	531,953,085	4,825,678
	維持補修費	663,800	541,450	122,350
	補助費等	133,965,256	130,112,291	3,852,965
	公債費	0	0	0
	小計	689,651,795	680,448,791	9,203,004
臨時的 経 費	物件費	4,105,200	0	4,105,200
	普通建設事業費	0	585,431	△585,431
	積立金	19,101,584	19,201,938	△100,354
	小計	23,206,784	19,787,369	3,419,415
合 計		712,858,579	700,236,160	12,622,419

## (2) 構成市町負担金の内訳

構成市町負担金の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

区 分	処理(運営)費分	処理施設整備費分	地域振興費分	負担額合計
豊岡市	219,169,366	2,735,869	0	218,905,235
香美町	54,521,909	729,903	0	55,251,812
新温泉町	44,347,725	640,228	0	44,987,953
合 計	315,039,000	4,106,000	0	319,145,000

※1 処理(運営)費分の負担割合は、均等割(10%)、ごみ量割(90%)である。

※2 処理施設整備分の負担割合は、均等割(15%)、人口割(85%)である。

※3 地域振興費分の負担割合は、均等割(15%)、人口割(85%)である。

## (3) ごみ処理手数料の内訳

ごみ処理手数料の構成市町の内訳は、次のとおりである。

ア ごみ受入量 (単位：台、t)

区 分	燃や す ご	燃や さ ない ごみ	粗 大 ご	ビン・ カン	ペット ボトル	その他	計
豊岡市	38,691	6,017	6,245	877	396	1,929	54,155
	22,789.94	1,121.60	912.07	518.46	88.54	2,393.26	27,823.87
香美町	9,368	1,170	1,268	357	153	1,446	13,762
	3,954.06	193.27	218.35	139.19	27.97	1,700.29	6,233.13
新温泉町	3,601	375	723	2	-	437	5,138
	3,514.20	164.52	177.59	0.08	-	1,007.96	4,864.35
合 計	51,660	7,562	8,236	1,236	549	3,812	73,055
	30,258.20	1,479.39	1,308.01	657.73	116.51	5,101.51	38,921.35

※1 市町別の上段は台数、下段は重量

※2 新温泉町のビン・カンは、一般の方が施設に直接持ち込みされたもの

※3 重量は、搬入時の計量データによるもの

イ ごみ処理手数料

市 町	区 分	台数 (台)	重量 (t)	料金(円)	料金割合 (%)
豊岡市	許可	7,070	7,477.02	74,770,200	50.21
	一般	27,632	2,191.42	21,914,200	14.71
	一般事業系	7,180	1,904.51	19,045,100	12.79
	県・官公庁	68	15.97	159,700	0.11
	計	41,950	11,588.92	115,889,200	77.82
香美町	許可	386	301.33	3,013,300	2.02
	一般	6,689	579.25	5,792,500	3.89
	一般事業系	2,111	891.09	8,910,900	5.98
	県・官公庁	30	8.58	85,800	0.06
	計	9,216	1,780.25	17,802,500	11.95
新温泉町	許可	670	762.71	7,627,100	5.12
	一般	2,008	221.64	2,216,400	1.49
	一般事業系	706	533.73	5,337,300	3.59
	県・官公庁	16	4.57	45,700	0.03
	計	3,400	1,522.65	15,226,500	10.23
総 計		54,566	14,891.82	148,918,200	100.00

※ 関係市町（直営、汚泥、災害ごみ等）及び収集運搬委託業者については、ごみ処理手数料は徴収しない。

※ 許可とは、一般廃棄物収集運搬許可業者、一般とは、一般家庭や登録事業者（手数料後納業者）ではない事業者、一般事業系とは、登録事業者（手数料後納業者）のこと

(4) 実質収支の状況

実質収支に関する調書を、歳入歳出決算書及び同事項別明細書と照合して審査した。当年度における実質収支は、28,482千円の黒字となっている。

(単位：千円)

区 分	金 額
歳 入 総 額	741,341
歳 出 総 額	712,859
歳入歳出差引額	28,482
翌年度へ繰越すべき財源	0
実 質 収 支	28,482

#### 4 財産の状況

財産に関する調書及び財産台帳により審査した。その概要は、次のとおりである。

##### (1) 土地及び建物

(単位：㎡)

区 分			土地（地積）	建物（延べ面積）	参 考
			現 在 高	現 在 高	
行政 財産	その他 の行政 機 関	廃棄物処理施設	22,350.00	15,807.25	クリーンパーク 北但
	公共用 財 産	山 林	261,732.21	56.70	森林里山ゾーン、 進 入 路
		その他の施設	881.81	40.57	管理施設
合 計			284,964.02	15,904.52	

※ 決算年度中の増減はなし

##### (2) 物品〔車両及び100万円以上の物品〕

(単位：台)

区 分	前年度末 現 在 高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高
その他特殊車両 (油圧式バックホウ)	1	0	1
その他機械 (竹粉製造機)	0	1(※1)	1
合 計	1	1	2

※1 平成28年取得（令和3年計上）

#### 5 基金の運用状況

##### (1) 審査の結果

審査の対象とした一般廃棄物処理施設基金は、北但行政事務組合が設置した一般廃棄物処理施設の撤去に必要な財源を確保するため設置された基金である。その計数は正確であり、設置目的に則して適正に運用されていると認められた。

##### (2) 基金の運用状況

基金の決算年度末現在高は98,810千円で、前年度より19,101千円増加している。これは、電力売払収入のおよそ10%である19,100千円と基金の運用から生じた収益を積み立てたものである。当年度の基金の運用益金は1,584円で、(款)財産収入(項)財産運用収入(目)利子及び配当金に収入されている。

<基金の運用状況（令和4年3月31日現在）>

(単位：千円)

区 分	前年度末 現 在 高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高	備 考
一般廃棄物 処理施設基金	79,709	19,101	98,810	現金、債券
合 計	79,709	19,101	98,810	

※ 基金については、定期預金及び普通預金並びに債券で運用している。

## 6 審査の所見

事務処理等に係る要望事項等については、次のとおりである。

### 〔要望事項〕

#### (1) 一般廃棄物処理施設基金について

基金については、将来の施設取壊しへの財源の一部として、クリーンパーク北但において発電する再生可能エネルギー電気の売電収入の概ね1割を積み立てることとしている。

取壊しのための財源手立てが限られている中で、有効な手段の一つであり、関係市町の健全な財政運営に資するため、可能な限り基金積立てを行われたい。

#### (2) 自主財源確保のための取組について

主な自主財源であるごみ処理手数料、資源化物売払収入及び再生可能エネルギー電気の売電収入は、いずれも前年度に比べて増収となっているが、新型コロナウイルス感染症の影響は不透明であり、今後も厳しい財政状況が見込まれる。

関係市町の負担軽減に資するためにも歳入確保の取組を着実に推進され、収入事務を適正に執行し、より一層の自主財源確保に努められたい。

#### (3) 構成市町負担金について

事業の運営に必要な経費を積算し、処理（運営）負担金は、均等割及びごみ量割で決定されている。構成市町負担金は適宜精算措置が行われており、当年度の歳入決算における繰越金の減少は、これが組合財政の運営基本を踏まえた適切な対応によるものと言える。

今後の事業運営において、引き続きコスト縮減の努力を行うとともに「最少の経費で最大の効果を」という地方自治の原則を十分認識し、限られた資金を有効に活用するよう一層留意されたい。広域ごみ・汚泥処理の質の高いサービスを継続して実現されることを期待している。

#### (4) 北但地域の循環型社会形成に向けて

ごみ処理は住民生活を守る不可欠で大切な仕事であり、今後とも「ほくたんハイトラスト株式会社」との連携・協力のもと、北但地域の循環型社会形成に向けて安全安心な施設運営に取り組まれたい。

施設管理のリスクを把握するため、監督・モニタリングを継続して実施し、経費節減の可能性の協議も続けていただきたい。

当該施設が環境学習や地域交流の拠点施設として地域に貢献され、さらに成長するよう望むものである。

### 〔その他〕

#### (1) 令和3年度定期監査及び行政監査の要望事項としていた有利な方法での基金運用について、確実かつ有利な方法が検討され、債券を購入している。

#### (2) 計画外の炉停止の原因は、水銀含有製品が燃やすごみに混入したことによるものと考えられている。組合ホームページ、広報誌、構成市町の広報誌等による正しいごみ分別の周知、構成市町による拠点回収を行い再発防止を図っている。